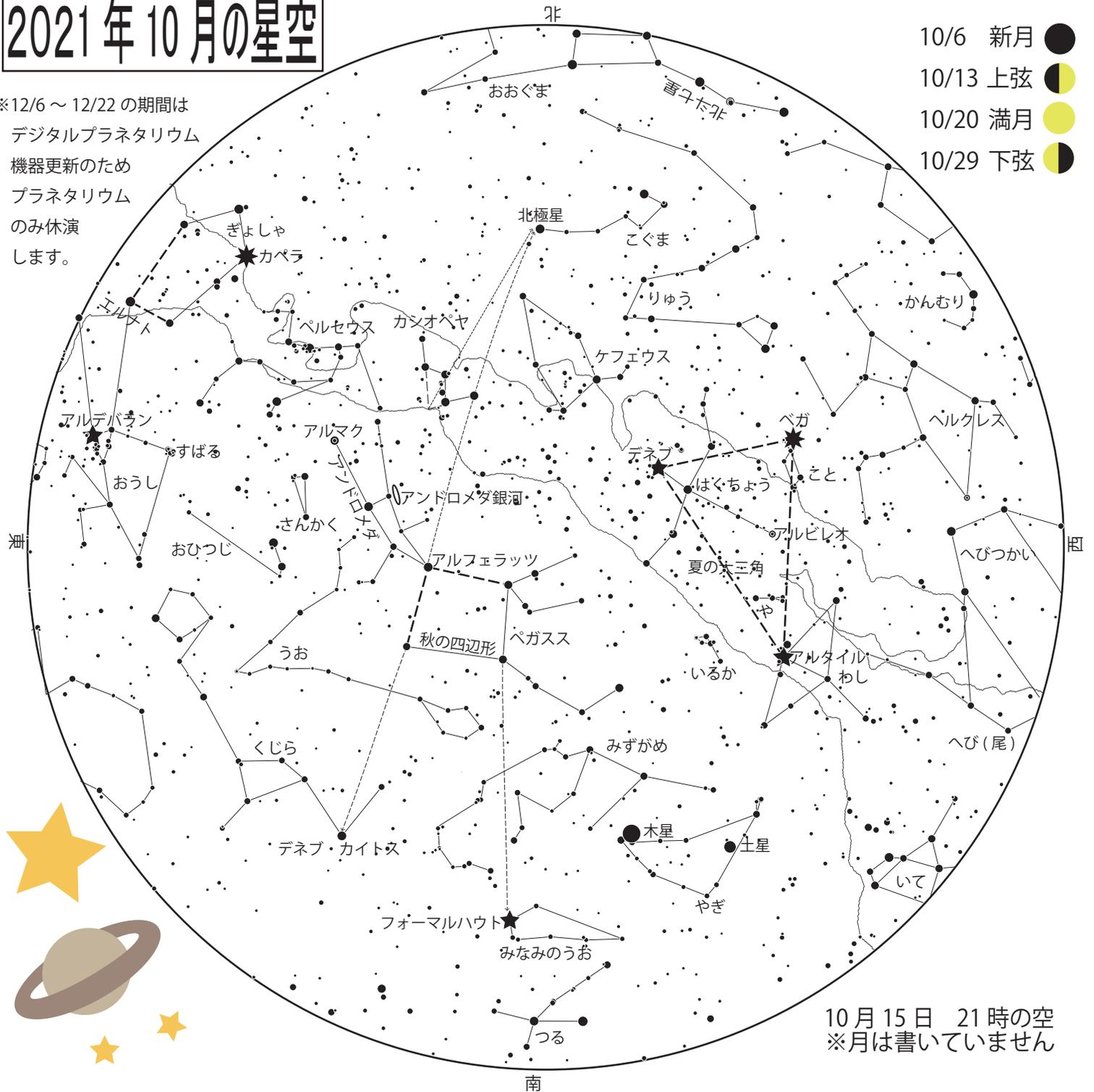


姫路で見る 2021年10月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

※12/6 ~ 12/22 の期間は
デジタルプラネタリウム
機器更新のため
プラネタリウム
のみ休演
します。

- 10/6 新月 ●
- 10/13 上弦 ●◐
- 10/20 満月 ●●
- 10/29 下弦 ◑●



10月15日 21時の空
※月は書いていません

秋の星座を見つけやすくなりました。秋の夜空の案内板「秋の四辺形」は、空飛ぶ馬・ペガサスの胴体部分です。星座としては、ペガサス座といいます。この四辺形の西の辺を南にのぼすと、1等星フォーマルハウトが見つかります。みなみのうお座の口の部分です。周りには、やぎ座、みずがめ座などの星占いの星座が見えます。

北東の空には古代ギリシャ神話「エチオピア王家の物語」に登場する人々の星座が見えます。四辺形の東の辺を北にのぼすと、王妃の星座、カシオペヤ座が見つかります。北にさらにのぼすと、夜空で北の方角を教えてくれる星、北極星にたどりつきます。カシオペヤ座のそばには、王様の星座、五角形のケフェウス座が見えます。また、四辺形の北東の角の星が、この2人の愛娘、アンドロメダ姫の頭の星で、ここから北東の空へと星を結ぶと、アンドロメダ座になります。そばに見えるアンドロメダ銀河は、私たちの住む天の川銀河のお隣の銀河で、地球から約230万光年離れたところにあります。

こと座のベガ、わし座のアルタイル、はくちょう座のデネブでできる「夏の大三角」もまだまだ観察できますのでこの機会にぜひ探してみてください。

木星と土星は、9月に続いて観察の好期です。